

旧金澤呉服店利活用の方針について

【利活用の方針】

旧金澤呉服店は、数少ない栃木の町屋建築の典型的な造りを残している建物であり、できるかぎり外観及び内装を保全し、栃木町の歴史、蔵の街とちぎの魅力を伝えるものとする。

管理運営については、市有施設として持続可能な在り方を目指し、維持管理に係る経費については、できる限りその施設単体で賄う体制整備を図るため、民間事業者等への賃貸とする。

【事業者ヒアリングの結果】

民間事業者7者に対し実施した意見聴取サウンディング調査の結果は、下記のとおりである。

①具体的な利活用方法について

- ・着物レンタル事業
- ・飲食店、カフェ
- ・中高生を対象とした共学共創拠点
- ・コワーキングスペース
- ・学習スペース
- ・子どもの遊び場
- ・店舗兼住宅（アーティストインレジデンス）※スポット利用、体験利用を含む。

②ターゲット層について

- ・安定的な運営を考えると観光客をメインターゲットとすべき。
- ・観光客減へのリスクから地元客も使いやすい必要もある。

③市民や地元への関わりについて

- ・地元客利用も必要であるという意見に加え、秋まつりをはじめとしたイベントや商店会への参加など地元への貢献もある程度は必要。
- ・イベント時は多くの集客を見込めるタイミングでもあるため、事業内容によっては協力が難しいという意見は共通していた。

④その他の意見

- ・駐車場がないことに対しては、共通して観光客をメインとした場合であれば電車やバスを利用して来るため必須ではないものの、地元客の利用を考えた場合には必要になるという意見があった。また、通学している中高生をターゲットとした利活用の場合、駐輪場が必要である。
- ・賃貸とした場合、建物の規模から設定した賃料や事業の継続性を重視した場合、算入事業者はある程度の規模を持つ事業者に絞られてしまうだろうという意見があった。一方で賃料を抑えすぎるのではなくイニシャルコスト・ランニングコストを回収すべき。

※具体的な民間事業者等への賃貸方法につきましては、皆さんからの意見や課題等を検討してまいります。